



西中だより

第9号 令和6年7月18(木)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

山梨県教育委員会より、「山梨県学校教育指導指針」について全家庭への周知の依頼がありましたので、お知らせします。甲府市は、下記のような県の「学校教育指導指針」を受けて、市の実態や特徴を踏まえ、市としての学校教育の方向性である「甲府市学校教育指導指針」を策定しています。甲府市の学校教育指導指針については学校HPに掲載します。また、県や市の指針を踏まえ策定した今年度の本校のスクールプラン(学校HPに掲載済)を裏面に掲載しますのでご覧下さい。

山梨県学校教育指導指針

令和6年度、山梨県の小中学校では、

全ての児童生徒が「未来の創り手となるために必要な資質・能力」を培うために、次の5つの観点に基づき、各学校では、学校教育目標の実現に向けた取り組みを進めます。

観点 確かな学力の育成

○学習指導要領の趣旨を踏まえた、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努めます。

観点 豊かな心の育成

○豊かな心の育成を目指し、学校の教育活動全体を通じて、安心できる環境づくり及び児童生徒一人ひとりに対応した切れ目のない組織的な支援に努めます。



観点 健やかな体の育成

○学校の教育活動全体を通じて、自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図り、食育並びに心身の健康の保持増進及び安全に関する指導を相互に関連させながら、望ましい生活習慣の形成に努めます。

◇学級経営の充実◇ 主な取り組み

- 教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、学級・ホームルーム・学年等の集団づくりに取り組みます。
- 児童生徒が所属感、自己肯定感、自己有用感を持つことができるよう、集団・個人として課題解決に向けた目標や方法・内容等をまとめたり、決定したりする活動を行い、一人ひとりのよさや可能性を生かすよう取り組みます。



観点 地域や世界で活躍できる人材の育成

○地域の特色を生かした学習活動を通して、郷土への理解を深めることができるようにするとともに、児童生徒一人ひとりがグローバルな視点を持ち、社会的・職業的自立に向け、将来に必要な基盤となる能力や態度の育成に努めます。

観点 特別支援教育の充実

○特別支援教育に関する専門性を高め、多様な学びの場(通常の学級・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校)における教育の充実に努めます。



これらを踏まえて、各学校で具体的な計画を立て、実行していきます。

令和6年度 甲府市立西中学校スクールプラン

青雲の志

・県学校教育指導重点
・市学校教育指導重点

【学校教育目標】

知を磨き 豊かな心とたくましい体をもった生徒の育成
～さわやかなあいさつが交わされ、全ての生徒が安心して生活できる学校づくりを通して～

＝めざす生徒像＝

- 主体的に学習に取り組み、学び合い高め合う生徒
- 豊かな心を持ち、認め合い、助け合う生徒
- 心と体を鍛え、たくましく生きる生徒

学校評価による改善

- ・教職員による評価
- ・生徒、保護者による評価
- ・学校運営協議会による評価

研究主題「考え議論する道徳」の授業づくり 一分事としてとらえる工夫と考えを深める工夫を通して～

- ・生徒の実態、夢と希望
- ・教師の思い
- ・保護者の願い
- ・地域の願い

誇れる西中
あいさつ・清掃・時間

めざす学校像

- 一人一人の学力を保障し、願いや夢を実現できる学校
- 自他を尊重し、望ましい人間関係を醸成する学校
- 家庭や地域の教育力を取り入れ、子どもの成長をサポートする、地域とともにある学校

めざす教師像

- 発達途上にある子どもへの敬意を持った教師
- 厳しさと優しさがあり、人権感覚を持った教師
- 連帯感と協調性があり、組織で取り組む教師
- より高い専門性を目指し、学び続ける教師

公立学校の**使命の自覚**：地域にいる全ての子どもを受け入れ、**将来の自立に向けた力**をつける
公立学校の**強み**を生かした**教育活動の展開**：多様性と地域密着性

<学校経営の重点>

- (1) 確かな学力の育成：授業づくりと家庭学習の充実を両輪とし、「確かな学力」を育成する
- (2) 豊かな心の育成：健全な社会性を育み、温かな人間関係が築かれる集団づくりを推進する
- (3) 健やかな体の育成：健康、安全に対する高い意識をもち、自他ともに命を大切にしている生徒を育成する
- (4) **特別支援教育の充実**：全ての生徒を対象とした特別支援教育を推進する
- (5) **信頼される学校づくり**：学校・家庭・地域が連携し、地域とともにある学校づくりを推進する

具体的な取り組み内容

確かな学力の育成

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・子供を主体とした授業づくり
- ・「学びの記録」による考えを記述する活動と四人グループを活用した言語活動の充実
- ・一人一台端末の効果的な活用
- 家庭学習習慣づくりの推進
- ・家庭学習の記録化
- ・家庭学習につながる課題の提示（eライブラリの活用）
- ・「NO テレビ ゲーム スマホDAY」の取組
- キャリア教育の充実
- ・キャリアパスポートを活用した系統的な取組
- ・体験を通しての夢の実現に向けた意欲の向上

豊かな心の育成

- 教育活動全体を通じた思い遣る心の育成
- ・教育活動全体を通じた人権感覚の涵養
- ・「考え議論する道徳」の授業づくり
- ・あいさつ運動の推進による挨拶習慣の定着
- ・読書・合唱活動など教育活動全体を通じた心の育成
- ・盲学校との交流・共同学習の実施
- 不登校・いじめへのきめ細かで組織的な対応
- ・「心の健康観察」による生徒理解
- ・S C、S S Wなどと連携した不登校生徒への支援
- ・校内教育支援センターの効果的活用
- ・いじめ防止基本方針の不断の見直しと迅速な組織的対応
- ・「S O S の出し方教育」と「自殺予防教育」の実施

健やかな体の育成

- 教育活動の相互関連を意識した体力向上と健康教育の充実
- ・体育授業の運動強度や体育的行事の内容の工夫
- ・健康・体力づくりの各校一実践運動
- 生涯を通じて健康な生活を送るために必要な資質・能力の育成
- ・「がん教育」「食に関する指導」の推進
- 危機管理マニュアルの改善と安全管理体制の確立
- ・実践的防災訓練の計画的な実施
- ・危機予知・危機管理能力の育成
- ・情報モラル教育の推進

特別支援教育の充実

- 支援体制の充実
- ・個別の配慮を要する生徒を対象とした校内支援委員会やケース会議による支援
- ・通級指導や外部専門機関等との積極的な連携
- 合理的配慮とユニバーサルデザインの推進
- ・全ての学級、生徒を対象とした指導・支援方法及び教育環境のユニバーサルデザイン化
- ・UD化チェックリストによる定期的な振り返り
- 教師の専門性の向上
- ・特別支援教育に関する理解の促進と専門性向上に関する校内研修会の実施

信頼される学校づくり

- 地域とともにある学校づくり
- ・学校運営協議会を核とした「学校支援活動」と「地域貢献活動」の推進
- ・学校開放日、授業参観、オープンスクールの実施
- ・学校だより、HPなどの活用による情報発信
- 小中連携の充実
- ・児童生徒間の交流
- ・教職員間の交流
- ・9年間を見据えた指導あいさつ・ききかた・おもいやり
- 外国語教育の充実
- ・CAN-DO リスト活用と言語活動の充実
- ・ALTの効果的活用

学級経営の充実

全ての生徒が安心して生活できる学級環境づくり

- 規律・ルールの確立
 - あたたかな人間関係づくり
 - 所属感、自己肯定感を持たせる活動
- (安全欲求→所属欲求→承認欲求→自己実現欲求)

※このスクールプランは、学校運営協議会で承認いただいた学校経営方針をもとにまとめたものです。